

NITTAの価値創造プロセス

NITTA's value creation process

マテリアリティの特定プロセス

ニッタグループでは2020年に「CSR推進・リスク管理委員会」において、「NITTAグループ理念」や「NITTAグループ行動憲章」を踏まえ、「社会とともに持続的に成長するための7つのマテリアリティ(重要課題)」を特定しました。なお、マテリアリティ(重要課題)については社会環境の変化を踏まえ、定期的に見直していきます。

マテリアリティに取り組む活動は、サステナビリティ経営を事業面で具現化することを目的としています。そのため、より実効性をもたせるために従来の「CSR推進・リスク管理委員会」を「サステナ

ビリティ推進委員会」と「コンプライアンス推進委員会」に改組し、「サステナビリティ推進委員会」でより専門的に推進していくことといたしました。また「サステナビリティ推進委員会」の傘下に「サステナビリティ推進部会」を設置し、具体的な施策やロードマップを検討します。目標実現に向けた事業活動を支援するとともに、事業部門へ必要な対応を指示する体制を構築しています。活動の内容は「サステナビリティ経営」における重要テーマとして、定期的に取り締役会にも報告します。



Step1
マテリアリティ候補の検討

当社グループの事業および取り組みを棚卸し、SDGsやGRIスタンダード等の国際的な枠組みによって整理した社会課題リストとの紐づけを行い、当社グループの事業活動と関連性の高い社会課題テーマを候補として特定します。

Step2
マテリアリティ候補の絞り込み

社会課題の重要度を評価するにあたり、「ステークホルダーにとっての重要度」を縦軸に、「当社グループにとっての重要度」を横軸とした、2軸での指標を作成。マテリアリティマップを基に候補を絞り込み、仮マテリアリティを特定します。

Step3
仮マテリアリティと関連するSDGsの優先課題の特定

仮マテリアリティと関連するSDGsと事業活動(提供価値)の関連性の整理をしたうえで、「CSR推進部会(現サステナビリティ推進部会)」にて優先課題を議論し、マテリアリティの策定に基づいたサステナビリティ活動を推進していきます。

Step4
妥当性確認と経営陣の承認

「サステナビリティ推進委員会」において、これらのマテリアリティの評価プロセスおよび分析結果の妥当性を検証し、優先的に取り組むべきマテリアリティを確認し、経営層による審議のうえ、取締役会によって承認を受けています。

重要課題(マテリアリティ)とSDGsの5つのGoal

	環境	社会	ガバナンス
マテリアリティ項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 温室効果ガス削減による低炭素社会の実現 ② 環境負荷の低減と循環型社会の実現 ③ 地球温暖化対策・生物多様性保全に貢献する山林経営 	<ul style="list-style-type: none"> ④ バリューチェーン全体を通じて社会的責任の発揮 ⑤ 働きがいのある魅力的な職場環境の実現 ⑥ 顧客満足の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ コンプライアンス推進とリスクマネジメント強化
特定理由	<ul style="list-style-type: none"> ①② 環境の維持、保全に対する社会的要請と作り手としての責任を鑑み、事業活動において最優先で取り組むべき課題として選定 ③ 社有林の経営を通じて、森林の有する多面的機能を最大限に発揮させ、地球環境保護と生物多様性の保全に貢献するため選定 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 事業活動を通じて社会的責任を果たしていくうえで、「ビジネスパートナー」であるお取引先様、協力会社様との連携が重要であるため選定 ⑤ 当社グループ社員一人ひとりが能力を発揮することが会社の成長につながるため選定 ⑥ 顧客満足の追求は当社創業以来培ってきた基本的な理念であるため選定 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ コンプライアンスとリスクマネジメントは企業の存続にかかわる土台であるため選定
SDGs			
主な活動	<p>環境に配慮した製品の開発・拡販</p> <ul style="list-style-type: none"> CO₂削減製品/省エネ貢献製品の開発 <p>製造効率化によるエネルギーおよび材料使用量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー対応設備への改良・切り替え 3R・廃棄物削減活動の推進 <p>グリーン調達の推進、健全な山林経営による山林の維持・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 保有森林面積・蓄材積の維持・拡大 生物多様性に配慮した環境づくり 	<p>ニッタのCSR調達方針の明確化と展開、ダイバーシティと機会の均等</p> <ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインの浸透 女性の活躍推進 外国人材の活躍推進 グローバル人材の育成 <p>働き方改革の推進、品質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康経営の推進 部門横断的品質保証体制の強化 	<p>コンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> NITTAグループ理念・行動憲章等の教育機会の設定 <p>リスク管理委員会体制による適切なリスク管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 調達先のBCPの調査 <p>海外拠点を含めたグループガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外拠点配置人材を含めた経営管理・監査関係人材の育成 <p>公正かつ適正な情報開示とステークホルダーとのコミュニケーション充実への取り組み</p>
あるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> 2050年におけるカーボンニュートラルの実現 持続可能な地球環境の維持に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して働ける職場環境を整備 ステークホルダーとのコミュニケーションを活発化し、企業価値を具現化して社会に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 公正な事業活動を通じて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上

マテリアリティ中長期計画

ものづくりを核としたシフトイノベーター

SHIFT INNOVATOR
cored around manufacturing

今後、当社グループを取り巻く世界は、技術革新や社会の価値観の変化等により急速に変わっていきます。このような環境の劇的な変化の中で持続的に成長するためには、柔軟かつ迅速に変わっていかねばなりません。「SHIFT」には、“あるべき姿に向かって自らが変化し続ける”という強い想いが込められています。ものづくりを中心に、SHIFTを繰り返しながらイノベーションを起こす「ものづくりを核としたシフトイノベーター」を目指しています。

当社が今後さらに持続的に成長していくためには、グループ全社員が長期的な視野に立ち、企業価値の拡大を図るとともに、気候変動や環境保全等社会的課題の解決にも貢献していく必要があると認識しています。このため、世界共通の目標として国連が提唱するSDGsのGoal達成に貢献すべく、「NITTAグループサステナブル経営方針」を制定するとともに、当社がこれから取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を設定しています。